

2025 年度AO選抜 文学部 国際コミュニケーション学域
「人文学プロポーズ方式」

【選考講評】

1. 実施状況

志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
国際コミュニケーション学域	3	3	2

2. 第一次選考<ES(エントリーシート)と課題レポート・志望理由書等>

(1) 評価ポイント

本学域に関連するテーマで、興味のある内容について、また、本学域で学ぶ意義と入学後に探究したいテーマについて、具体的かつ論理的な文章にまとめられているかどうかを評価しました。特に、本学域の学びを事前に理解する姿勢が見られるかに主眼を置き、事前にホームページ等を通してカリキュラムやプログラムについて調べてきているかどうかについても評価しています。

(2) 解答状況

提出された各書類は、期待される水準を大きく満たしているものと、概ね満たしているものとに分けられました。また、本学域で提供する学びと入学後に探究したいテーマに関しても、内容がかなり合致しているものから概ね合致しているものと分けられました。課題レポートについては、自身の興味のあるテーマについて、より具体的にかつ論理的に述べられると良いものも、論旨が明快で説得力のある文章で書かれたレポートもありました。入学後に探究したいテーマと学習・活動計画についても同様に、探究したいトピックが明確で、しっかりとした学習計画が立てられているものと、もう少し具体的な計画が必要なものとに分けられましたが、全体的には期待する水準を満たしていました。

3. 第二次選考

(1) 評価ポイント

プレゼンテーションでは、課題レポートの記述内容に沿ってテーマが設定されているか、議論が論理的に展開されているか、また、資料が適切な分量と見やすさを意識して作成されているかについて評価しました。また、発表の質疑応答についても質問の趣旨を理解し、適切に答えられているかどうかを見ました。面接では、エントリーシート、プロポーザルシートの記載内容だけでなく、本学域での学びに関連する内容についての質問にも適切に回答できているかどうかを評価しました。

(2) 解答状況

プレゼンテーションでは、資料が見やすく整理されており、議論の立て方や発表の構成に関しても十分に考慮されていることが窺えるものと、もう少し議論の流れを整理し、主張を補強する明確な根拠を提示した方が良いと思われるものがありました。

また、参考文献が正しく明記されていないスライドが一部含まれていました。引用元は適切な方法で提示する必要があります。面接では、すべての受験生が質疑応答に丁寧に対応し、面接官の質問の趣旨を理解した上で、適切な回答ができていました。

(3) 試験（プレゼンテーション・面接）内容

課題レポートの記述内容に沿って、国際コミュニケーション学域の学びに関連するテーマで興味をもっていることについて資料を作成し、その資料に基づくプレゼンテーションを行ってもらいました。また、プレゼンテーションの内容に関する質疑応答と出願書類の内容に基づく質疑応答を面接で行いました。

(4) 出題（プレゼンテーション・面接）の意図

自身の興味関心が本学域で提供する学びと合致するか、そしてその内容を論理的かつ明確に示すことができているかに注目しています。また、これまでの経験や学生生活での学びをきっかけに、本学域への入学後に探求したい「問い」を設定できているか、学問に対する積極性や真摯さが見られるかを確認するための出題になっています。

(5) 受験生に望むこと、その他気付いた点

プレゼンテーションのトピックに直接関連する内容のみならず、そこから派生する周辺的な事象に関する知識も積極的に探索し、勉強する習慣を身につけて欲しいと思います。そうすることにより、自身の興味関心の幅が広がり、研究のテーマも益々広がると思います。

以上